

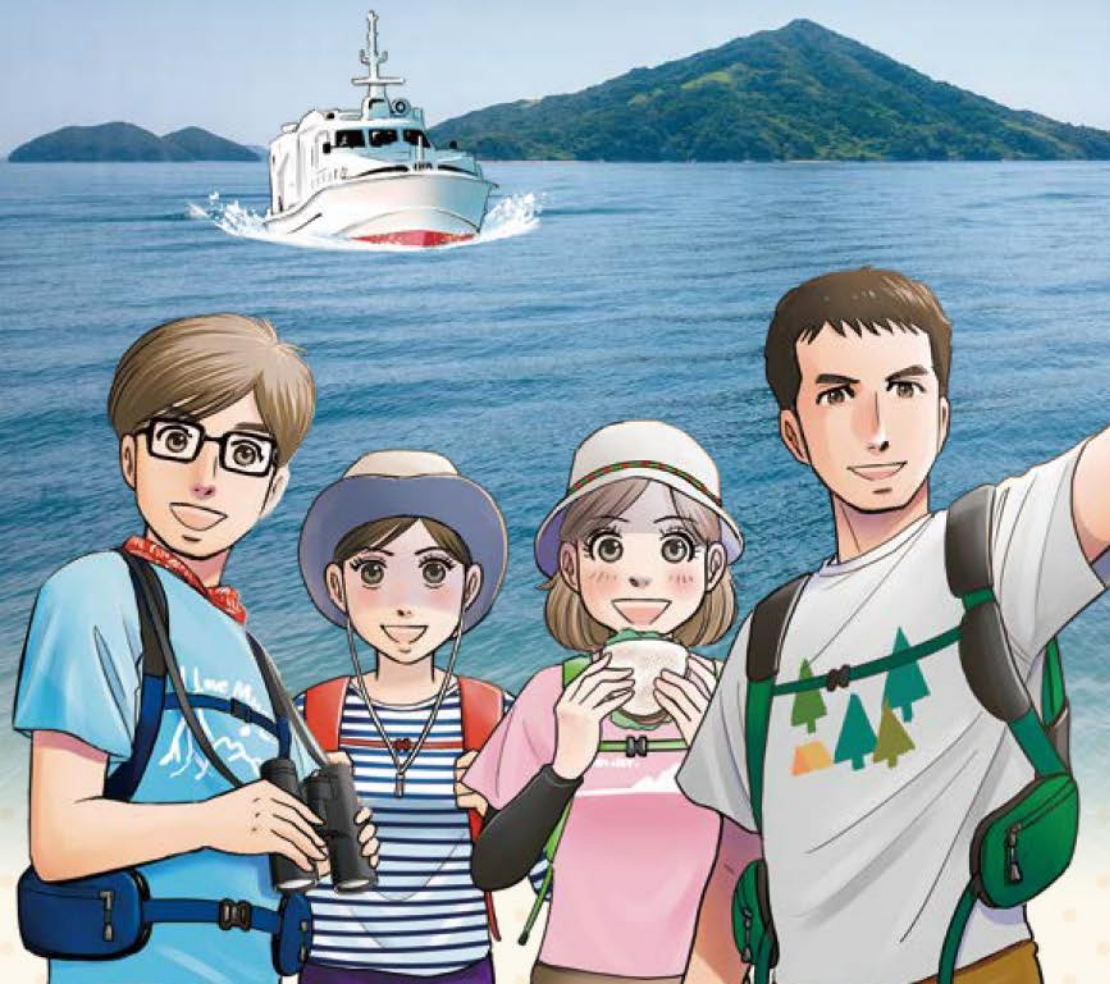
いわくに魅力発信

Vol.3
柱島群島

いわくに

IWAKUNI - CHIKAKUNI - MONOGATARI

チカクニ物語



いわくに魅力発信 いわくにチカクニ物語 Vol.3

IWAKUNI
CHIKAKUNI - MONOGATARI

〈岩国市の詳しい情報はこちら〉

ちかくにいわくに
岩国市シティプロモーションサイト

<https://chikakuni-iwakuni.com/>

～あなたのちかくにある岩国の4つの魅力～
岩国市シティプロモーションサイト

問合先/岩国市 広報戦略課
〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14-51
TEL/0827-29-5016
mail/kouhou@city.iwakuni.lg.jp



家族の夢かなう
いわくに暮らしサポートセンター
IWAKUNI RESIDENCE SUPPORT CENTER

<https://yumekana-iwakuni.jp/>

総合移住相談窓口

問合先/いわくに暮らしサポートセンター
〒740-0018
山口県岩国市麻里布町二丁目3-6
株式会社 街づくり岩国 内
TEL/0120-28-1892(専用ダイヤル)、
0827-28-6020
相談受付/
月～土曜10:00～17:00



岩国 田舎暮らしの道しるべ!

<http://iwakuni-iju.jp/>

中山間地域への移住相談窓口
(空き家バンク)

問合先/岩国市 中山間地域振興課
〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14-51
TEL/0827-29-5012
mail/chiiiki@city.iwakuni.lg.jp
相談受付/
平日10:00～17:00



いわくに魅力発信
いわくにチカクニ物語
Vol.3 2021年1月発行

岩国市 中山間地域振興課
〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14-51 TEL/0827-29-5012
この冊子は、岩国市ふるさと応援寄附金を財源に作成しました。内容は岩国市の中山間地域の情報を中心に掲載しています。
歴史的記述に関する監修：岩国徴古館



■ 岩国港～柱島線航路

■ 時刻表

	1	2	※3	4		1	※2	3	4
柱島発	6:45	8:50	14:15	16:15	岩国発	7:40	10:00	15:30	17:30
端島	6:54	—	14:24	16:24	黒島	8:17	10:37	—	18:07
黒島	—	—	14:38	16:38	端島	8:31	10:51	—	18:21
岩国着	7:30	9:28	15:14	17:14	柱島着	8:39	10:59	16:08	18:29

※の便は、土曜日、日曜日、12月30日～1月4日、8月13日～16日にのみ運航されます。柱島3島へは、岩国港(新港)から平日1日3往復、また、土・日・お盆、年末年始の期間には、1日4往復が運航されています。



岩国港と岩国柱島海運(株)

岩国港は江戸初期に開かれた港です。国が重点投資する重点港湾にも選定されています。隣接工場群の貨物や外国との貿易を担い、大型クルーズ船も寄港します。岩国柱島海運(株)は、岩国港と柱島3島を結ぶ定期高速船を運航しています。岩国・柱島間は1時間弱。島民にとっては欠かせない生活の足として活躍しています。



いわくに魅力発信

いわくに チカクニ物語

IWAKUNI-CHIKAKUNI-MONOGATARI

VOL.1
由宇・玖珂・周東

VOL.2
美川・錦



チカは東京在住の大学生。3年生の夏、岩国に帰省してクニコとカープ由宇練習場に行ったとき、ひょんなことからサトルとテツに出会いました。

その後、岩国の各地を巡るようになった男女4人。由宇・玖珂・周東(VOL.1)、美川・錦(VOL.2)で、岩国の魅力を再発見してきました。

さて、4年生になったチカでしたが、内定はまだ決まらず、気持ちは焦るばかり。このまま東京で就職することにも迷いがあり、二つ年上の彼に相談したくても、新入社員で忙しい彼とは会えない日が続いていました。

そんなチカの状況を知ってか知らずか、サトルはこの夏も旅を企画。チカに会わせたい男性がいるといいます。

チカは息抜きもかねて、岩国に帰ってきました。ちよとした胸騒ぎとともに…

〈 登場人物 〉



□□□□(□□歳)

サトルがチカに紹介しようとしている謎の人物。岩国市柱島に住む男性のようです。



国本サトル(21歳)

岩国市周東町出身。広島のホテルでコックをしている。高校時代は甲子園を目指していた。



岩田テツ(22歳)

岩国市錦町出身。広島大学の4年。ひょうきんで明るい性格だが、日本の伝統文化に詳しい。



薬月クニコ(21歳)

岩国市今津町の実家に住む。地元の大企業に勤務するOL。カープ女子。



立花チカ(21歳)

岩国市山手町出身、東京の大学4年。日本史を勉強している。趣味は食べ歩き。

端島

昔から漁業が盛んで、周辺から出稼ぎ漁に来るほど賑わった時期もありました。蛇の池には、大蛇退治の伝説が残ります。船瀬の浜は、一見の価値ある美しい浜です。



HASHIMA

船瀬の浜
透明度が高く、美しい海岸。



KUROSHIMA

荒神社
黒島港
三島神社



黒島

江戸時代に柱島の人々が移り住み、漁業を生業にしていたと伝わります。戦時中には、島民の寄付により、ゼロ戦一機を軍に贈るほどの財力を誇りました。



エー柱島群島には
12の島があります
人が住んでいるのは
柱島と端島と黒島
柱島の人口は...



サトル君が
チカに会わせ
たかったのは...
この人ね



柱島群島

岩国市の中心部より南東の瀬戸内海に浮かぶ12の島々で構成されています。その内、有人の島は柱島、端島、黒島の3島です。3島の人口は合わせて160人(2020年12月時点)。近年の高齢化と人口減少の影響を受けていますが、美しい海での漁業や段々畑での農業が住民により営まれています。どこか懐かしい、心癒される島々です。

島尻の浜(P.12-13)



HASHIRAJIMA



柱島

柱島群島のなかで最も面積(約3km²)が広い島です。島名は、神様を「柱」と数えることに由来するとの説があり、島の神社には現在も多くの神々が祀られています。昔から漁業が盛んで、豊富な魚介や海藻に恵まれています。また、畑地では農業も営まれるなど、自然に恵まれた島です。



田島 タケル(25歳)

生まれも育ちも東京。大学卒業後、一旦は就職したが退職。地域おこし協力隊で柱島へ。

金蔵山からの景色

金蔵山(きんぞうさん)は標高283m、山頂手前の展望地からは見事な多島美を眺めることができます。視界が晴れていれば、四国の愛媛県松山市や広島県呉市まで一望できます。また、登山道が整備され、ベンチのある休憩場所からも美しい景色を望むことができます。



うわあー
スツゲー！



テツは妙に
詳しいんだよ

これはすごい
柱島は
連合艦隊の
停泊地だった
からね！



旧海軍見張り所跡

戦時中、柱島群島は艦艇が身を隠すのに適していたことから、連合艦隊の停泊地でした。金蔵山の山頂近くには、敵からの攻撃を見張るためのレンガ造りの頑丈な遺構が、悲しい歴史を今に伝えています。



やったー
おなかべっこべこー

じゃあここで
昼食を

どうです？
いい景色でしょう

田中 繁 さん
(岩国市漁業協同組合柱島支店勤務)

「柱島の自慢はこのキレイな海と空です」と田中さん。稚魚の放流やアワビの漁礁を設置する等、地元漁師のために働いています。サザエの大きさも驚きますが、島のヒジキとワカメの美味しさにも感激です。



柱島は昔から
漁業が
盛んなんですよ

ド
ド
!!



うちの玉ねぎは
3〜5月頃に
できるよ
おいしいよー

青森 磯武 さん

妻が柱島出身という縁で、島に暮らし始めて5年ほど。今ではすっかり島の暮らしに溶け込み、畑で汗を流す毎日をご過ごされています。自慢の早生玉ねぎの他にも、紫玉ねぎやショウガを出荷されています。



うちの
12月にできる
全国でも珍しい
品種なんですよ

森岡 信孝 さん

「これは玉ねぎじゃなくて、『シャルム』です」と森岡さん。11月末から12月末に採れる超早生です。その味も、玉ねぎとは別物で、まるで果物なんだとか。だから、あえて品種名のシャルムと呼ぶんですね。



あか ね たけ と
赤禰武人 (1838-1866)



(おおすみグループ蔵)

柱島出身、幕末の志士。僧・月性、吉田松陰に学んだ後、外国の圧倒的な軍力に対抗するため、高杉晋作と共に奇兵隊の結成に関わりました。第三代奇兵隊総督となり、英・仏・蘭・米による四国連合艦隊からの攻撃に応戦しましたが、圧倒的な火力の差に大敗を喫しました。その後、保守派と改革派が争う長州藩の内戦を避けようと活動しますが、改革派・高杉晋作の挙兵により頓挫。その後、幕府による長州征討を阻止する目的で幕臣と行動を共にし、これにより誤解を受け、長州藩により処刑され、無念の死を遂げています。享年29。



● 赤禰武人の墓(西栄寺)



● 善立寺(武人が捕縛前に過ごした)

むつ
戦艦陸奥の悲劇

「陸奥」は、旧日本海軍の戦艦です。大正10年(1921)当時は世界七大戦艦の一つに数えられ、姉妹艦の「長門」と共に日本の力の象徴でした。

しかし、太平洋戦争渦中の昭和18年(1943)6月8日、柱島沖に停泊中、主砲火薬庫から爆発を起こして沈没しました。乗員1,474人の内、助かったのはわずか353人。死者の多くが柱島の海岸に打ち上げられ、軍により火葬された後、柱島の住民により遺骨が集められて墓に埋葬されました。

柱島では現在もなお毎年、慰霊祭が営まれています。



● 戦艦陸奥英霊之墓



● 旧日本海軍の戦艦「陸奥」

ひがしたくしや
東沢瀉 (1832-1891)

江戸時代後期、岩国領主・吉川氏に仕える中級武士の家に生まれました。勉学に励み、岩国の三博士と呼ばれ、岩国の学校・養老館の助教になりました。

第二次長州征討(四境戦争)の後、旧態依然とした岩国軍の改革を訴え、師弟と必死組(後の精義隊)を結成しましたが、子弟らの暴走により、柱島への流罪となり、島に囚われました。

維新後、戊辰戦争での精義隊の活躍もあり、釈放となった沢瀉は、保津村(岩国市保津町)に沢瀉塾を設立。子の東敬治の代を含めて、生徒の数は2千とも3千とも言われ、地域の発展に寄与する人材を多数輩出しました。享年62。



(岩国徴古館蔵)



● 村上武吉過所旗(山口県文書館蔵)

柱島の成り立ち

約950年前の鎌倉時代には、京都の賀茂別雷神社(上賀茂神社)の荘園だったとの記録があります。南北朝時代には忽那水軍(海賊)が治めていました。戦国時代に入ると、厳島合戦で毛利軍に味方して勝利した村上武吉率いる村上水軍(海賊)の領地となりました。

江戸時代には、吉川氏が治める岩国領に属しています。塩やムシロ(草で編んだ敷物)の生産が行われていたと伝わります。

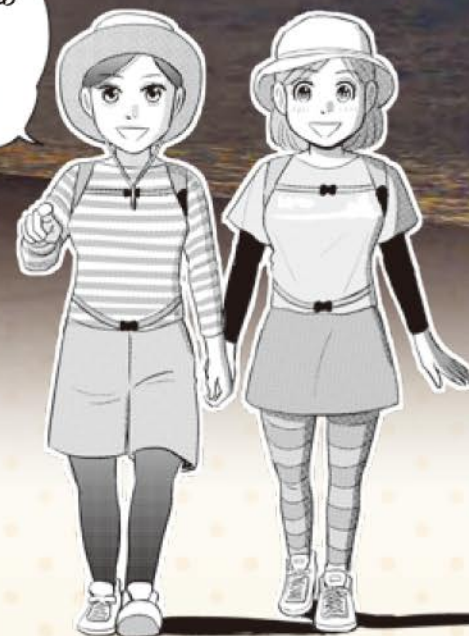


島尻の浜

柱島の北側に位置する美しい海岸です。砂浜はほぼ一直線で1kmも続きます。昼間の青い空と海はもちろんですが、対岸の端島に沈む夕日の美しさは格別です。



あタケルさんがトランペット吹いてる



よくここで吹くんですか？

うんへこんだ時なんかね

僕は島の活性化のためにここに来たんだこの美しい島で僕ができることは何かなって...

明日もここに案内しますよ



